

目次 -CONTENTS-

特集 映画ロケーション	1
●映画ロケーションの紹介	2
●岐阜大学医学部附属病院 診療案内	3
●産科医療補償制度について	3
●位置図・岐阜バス岐阜大学病院行き系統・路線図・ 病院へのアクセス・病院駐車場のご案内	4
●特色ある診療内容：診療科・部門紹介ー精神神経科ー	5
●患者サービスー医療連携センターの紹介ー	6

病院の理念と基本方針

あなたとの対話が創る信頼と安心の病院

●基本方針●

1. 患者様中心のチーム医療を提供します。
2. 人間性豊かな医療人を育成します。
3. 高度先進医療の研究・開発・提供を実践します。
4. 地域医療への積極的参画と連携強化を図ります。

特集

映画ロケーション



病院を舞台にした映画「チーム・バチスタの栄光」の続編「ジェネラル・ルージュの凱旋」の撮影が、2008年12月18日から1週間にわたり本病院で行われました。撮影では病院のアトリウムを使って、大規模火災で運び込まれた患者さんを手当てするシーンが、約800人の医師・看護師・患者役等のエキストラを集めて行われ、本病院からも医師、看護師、事務職員、学生等が多数参加して、それぞれ割りあてられた役を演じました。



▲アトリウム

アトリウムでの撮影は、外来診療のない休日、祭日を利用して患者さんにご迷惑のかからないよう行われました。各病棟から提供されたベッド、ストレッチャー、車椅子、点滴台などの器具と、包帯や化粧でメイクされたエキストラの人たちで埋め尽くされ、緊張したアトリウムの光景となり、まるで大災害時の光景を垣間見たかのようでした。

— 映画ロケーションの紹介 —



▲正面玄関

撮影には、病院玄関、職員駐車場、ホスピタルパーク、インテリジェントモール、屋上ヘリポート等の施設を使い行われました。当病院が撮影舞台に選ばれたのかそのわけは、制作会社が救命救急の撮影ができる広い大きな施設を探していたおり当病院が撮影コンセプトに一致したので、アトリウム以外の施設を含めて撮影の場として選ばれたものです。当病院としても、映画撮影による地域貢献、病院のイメージ向上及び救命救急を受け入れる施設の紹介として大いに役立つとして、撮影場所の提供協力をしました。



▲書き換えられた看板

病院の玄関では、施設の名称や看板が美術スタッフにより見事にすべて書き換えられ、普段とは異なった風景となり、記念写真を撮る光景が見られました。



▲ヘリポート



▲アトリウム

竹内結子さん、阿部寛さん、堺雅人さん、山本太郎さんなど多くの有名な俳優さんの演技を間近で見られるとは思ってもよらないことで、エキストラ参加の方やこの病院で働くものとして、それぞれの思い入れのある映画となったことと思います。



アトリウム▶

大規模火災で患者が搬送されてくる山場の場面では、緊張の面持ちで役を演じるエキストラの皆さんでした。



▲アトリウム

撮影終盤には、俳優さんや撮影スタッフの皆さんと共に、撮影記念写真の撮影のお願いも快く受けていただき無事終了となりました。



▲記念撮影(アトリウム)

提供 (C) 2009映画『ジェネラル・ルージュの凱旋』製作委員会

●外来診察日一覧

凡例 △：初診・再診 ○：初診 △：再診 休：休診

診療科（臓器別名）		月	火	水	木	金
内科	消化器内科	△	○	△	△	△
	循環器内科	△	△	△	△	△
	腎臓内科	△	△	△	休	△
	呼吸器内科	△	休	△	△	△
	血液・感染症内科	△	△	△	△	△
	東洋医学	△ 午後のみ	△ 午後のみ	△ 午後のみ	△ 午後のみ	△
	糖尿病代謝内科	△	△	△	△	△
	免疫・内分泌内科	△	△	△	△	△
	神経内科・老年内科	△	△	△	休	△
	総合内科	△	△	△	△	△
外科	心臓血管外科	△	△	△	△	△
	呼吸器外科	△	△	△	△	△
	消化器外科	△	○	△	△	△
	乳腺外科	△	予約のみ	△	休	△
	甲状腺外科	△	△	△	△	△
	腎移植外科	休	△	△	△	△
成育医療科・女性科（産科婦人科）		△	△	△	△	△
整形外科		休	△	△	△	△
脳神経外科		△	△	△	△	△
眼科		△	△	休	△	予約のみ
耳鼻咽喉科・頭頸部外科		△	△	休	△	○
皮膚科		△	休	△	○	△
泌尿器科		○	△	△	○	△
精神神経科		△	△	△	△	△
小児科		△	△	△	△	△
放射線科		△	△	△	△	△
麻酔科・疼痛治療科		△	△	休	△	△
歯科口腔外科		△	△	△	△	△
総合診療部		△	△	△	△	△

※診察日は、変更する場合がありますのでご了承下さい。

受付時間/診察開始時間/休診日/面会時間

初・再診受付：8：30～11：00

診察開始時間：9：00～

休 診 日：土・日曜日、祝祭日、年末年始

面 会 時 間：10：00～21：00

●外来受診の方法

- ◇初診の方は、1階ホールに設置の記載台にて診療申込書に必要事項を記入いただき、保険証を提示の上初診窓口で受付をします。受付後、それぞれの診療科をご案内します。
- ◇再診で予約なしの方は、再診窓口にて当日の予約をし、それぞれの診療科受付へお越しください。
- ◇予約のある方は直接2階の総合受付又は当該診療科の受付へお越しください。受付では、診察券を提示いただきます。受付担当職員が診察券を受付機に通すことによりそれぞれの診療科の受付が完了します。受付完了後は、各診療科診察室前でお待ちください。
- ◇各診療科診察室前の大型のディスプレイに、ご自分の番号が表示されましたら診察室にお入りください。

●予約診療

- ◇本院は、基本的に再診は予約制となっています。初診で受診され、次回の診察が必要な場合には、医師が診察直後に患者さんと相談の上、次回の診察日及び診察時間を設定し予約します。会計窓口で会計処理の際、診察券の裏面に次回診察日時が印刷されます。
- ◇次回予約がなくて、再度診察を希望される場合は、予約センター（058-230-6123・6125）にお電話いただき、診療予約をとっていただくこととなります。
- ◇予約がなくても、直接来院されて、再診窓口にて当日予約を取ることも可能ですが、この場合は当日に担当医が不在で、別の医師となることもあります。なお、初めて本院を受診される方及び本院の他の診療科を初めて受診される方は予約できません。

●診療費のカード払いについて

- ① 診療費のお支払いについては、下記のクレジットカードをご利用できます。
DC、UFJ、NICOS、VISA、Master、JCBの各種カード
1階ホールの自動支払機で取扱っています。窓口でのお取扱いはできません。
利用時間は、平日の9時から17時まで。（時間外及び土日祝祭日はご利用できませんのでご了承願います。）ご利用の際には「診察券」が必要です。
- ② お支払いは、すべて「1回払い」のみの取扱いとなります。（分割/リボ払いはできませんので、ご了承願います。）
- ③ ご利用の際には、事前に「暗証番号」、「利用限度額」のご確認をお願いします。
クレジットカードの裏面に各カード発行会社名及び連絡先/電話番号が記載されていますので、お問い合わせください。

産科医療補償制度について

本院では、平成21年1月1日以降に生まれる全ての赤ちゃんを対象にした「産科医療補償制度」に加入しました。この制度は、出産を取り扱う病院・診療所・助産所が加入者となり、生まれた赤ちゃんが重度の脳性麻痺（①出生体重が2,000g以上かつ在胎週数33週以上、②身体障害者等級1・2級相当の重症者）に該当する場合に一定の補償金をお支払いする制度です。ただし、先天性要因、新生児期要因による場合は補償されません。

補償金額は、準備一時金（看護・介護を行うための基盤整備のための資金）として600万円、補償分割金（看護・介護費用として毎年定期的に支給）として2,400万円（年間120万円を20回支給）となっています。
手続き等の詳細については成育医療科・女性科窓口にお尋ねください。

なお、参考までに本院での出産に伴う分娩助産料は平成21年1月1日から以下のとおりとなっていますのでお知らせします。

分娩助産料：単胎の時 180,000円

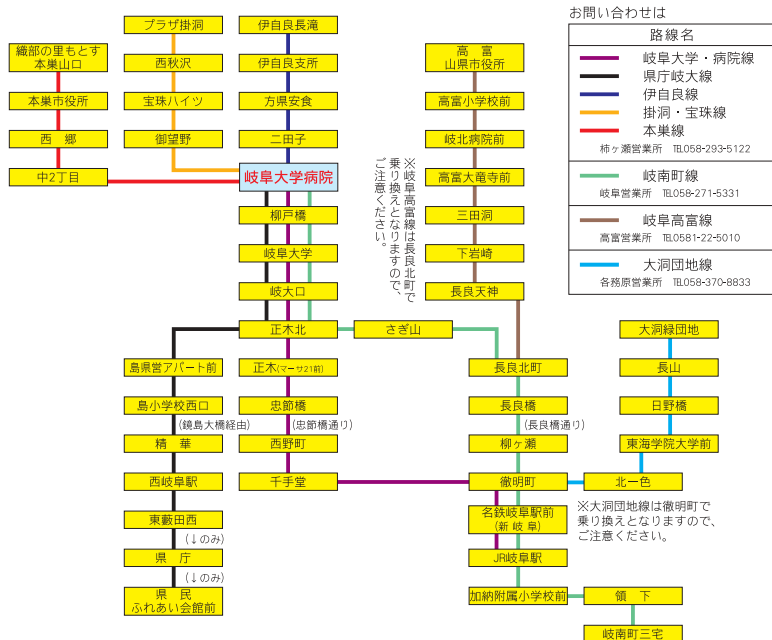
多胎の時 120,000円（1児増すごとに）

※時間外、深夜、休日の場合は2割増しとなります。

●位置図



●岐阜バス岐阜大学病院 系統・路線図



●病院へのアクセス

◇鉄道をご利用の方

JR東海で「岐阜駅」下車

名古屋鉄道で「名鉄岐阜駅」下車

◇バスをご利用の方

岐阜バス

岐阜大学病院線・岐南町線で「名鉄岐阜駅前、JR岐阜駅」乗車、岐阜大学病院下車 所要時間30～40分
(運賃：名鉄岐阜・岐阜駅から310円)

◇タクシーをご利用の方

JR岐阜駅、名鉄岐阜駅から約20分
(約3,000円)

●病院駐車場のご案内

本院では、約500台が駐車できる外来患者駐車場を用意しています。

【駐車整理料金等】

○外来患者：受診日当日……………無料

○入院患者：入・退院日当日……………無料

「会計窓口等」で駐車整理券を提示し、受診されたことの確認を受けてください。

確認の時間・場所

・平日8時30分～17時15分（1階会計窓口）

・その他の時間（1階夜間受付）

○一般外来者(面会・お見舞い・付き添い他)

・入構から30分まで……………無料

・入構から30分を超え90分まで……200円

90分を超えたら1時間ごとに100円を加算。

ただし、その額が500円を超えることとなる場合は500円

・入構から24時間を超える場合…500円

に24時間までごとに500円を加算した額

なお、入院中に駐車されている場合(入・退院日当日を除く。)は、1日あたり500円の駐車整理料金をお支払いいただくことになります。

(ご注意)

駐車整理料金は、現金または病院内で販売されているサブ（IC）カードで精算願います。現金での料金精算には小銭が必要となりますので、あらかじめご用意願います。(1万円札・5千円札・2千円札は使用できません。)



病院広報 鵜舟第12号

平成21年3月発行

発行／岐阜大学大学院医学系研究科医学部情報委員会附属病院部会

〒501-1194 岐阜市柳戸1番1 TEL(058)230-6000(代表)

岐阜大学医学部附属病院ホームページアドレス <http://hosp.gifu-u.ac.jp>

特色ある診療内容：診療科・部門紹介

－ 精神神経科 －

うつ病に対する修正型電気けいれん療法

うつ病では、一般的にSSRI（選択的セロトニン再取り込み阻害剤）やSNRI（セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤）などの抗うつ薬による薬物療法が行われています。SSRIやSNRIは、古くからある抗うつ剤と比べて副作用も少なく、たいへん飲みやすくなっており、副作用のために内服を途中で中断する率も少なくなっているといわれています。

しかし、どんな種類の薬を使ってもなかなか治らない、精神的あるいは身体的に迅速な治療が必要、身体の病気のために抗うつ剤を使いづらい、副作用により薬物療法の継続が困難といった、いわゆる治療が難しい患者さんもおられます。そのような患者さんに対して、精神神経科では麻酔科と共同して修正型電気けいれん療法を行っています。

修正型電気けいれん療法とは、全身麻酔と筋肉のけいれんを抑える薬を使用して、頭部に通電することで人為的にてんかんと同様の電気活動を誘発する治療法です。電気けいれん療法自体の歴史は古く、約70年前に開発され、その後いくつかの技術的進歩があり、現在の修正型電気けいれん療法という形になっています。電気けいれん療法がどうして効くのかは未だ正確には解明されていませんが、うつ病の原因となる脳内神経伝達物質の異常を正し、治療としての効果があることはこれまでの研究で分かっています。

電気けいれん療法と修正型電気けいれん療法の違いは、後者が全身麻酔と筋肉のけいれんを抑える薬を使うことです。修正型電気けいれん療法のメリットは麻酔によって患者さんが眠っている間に治療するので痛みを感じることはなく、筋肉のけいれんを抑える薬のために、実際は全身のけいれんは起こらず、骨折や脱臼などの合併症を予防できることです。適応疾患は、うつ病、統合失調症、躁うつ病などですが、精神神経科では主にうつ病に対して電気けいれん療法を行っています。治療は、手術室で、脳波や心電図、血圧などのモニターを装着したうえで行われ、1回30分程度で終わります。当院では、通常、週に1～2回行い、6～10回程度行った時点で効いているかどうかを判断し、そのまま続けるかそれとも終了とするのかを決めています。ただし、電気けいれん療法の終了時点で効果があつた場合でも、その後は抗うつ剤による薬物療法を継続することが必要です。

一般的な副作用としては、麻酔による副作用の他に、頭痛や吐き気、通電部分の火傷、治療後にしばらくもうろうとすることが挙げられます。その他には、治療前後のことが思い出しにくくなる記憶障害が出現することがあります。一般的には短期間に留まりますが、ごく稀に記憶の欠損が起こることがあります。しかし、脳の形態学的な異常については起こらないことが示されています。心血管系に疾患のある場合は、心臓合併症の危険性は増加します。最も重篤な場合は死亡ですが、文献では5万回に1回以下とも報告されており、全身麻酔での危険率にほぼ相当する数値です。当院では修正型電気けいれん療法に関連した死亡はこれまで起こっていません。

医療連携センターの紹介

医療連携センターでは、表に示す患者さんやご家族からの相談をお受けしています。
医療連携センターは、病院玄関近くにあり、9人のスタッフがお待ちしております。
相談は、できるだけ事前に電話等で相談日時を予約の上、お越しいただきますようお願いいたします。
その他、医療機関からのFAXを利用した患者さんの診療等予約（午前8時30分から午後5時）も行っています。

相談内容	相談時間等	相談内容等
女性専門相談	予約制 月曜日14:00～16:00	女性医療スタッフによる健康相談
こころの相談	予約制	療養に関する心理的・社会的な相談
看護相談	随時	患者さんご家族の療養についての相談 在宅看護・退院に伴う相談
医療福祉相談	8:30～17:00	医療費・生活費などの経済的問題や社会福祉制度の相談 療養生活、転院、退院に伴う相談
がん相談	9:00～16:00	がんに関わる医療やがん患者さんの生活についての相談
難病相談	8:30～17:00	難病の患者さんが安心して住みなれた地域で療養できるための相談
セカンドオピニオン	予約制	診断や治療法について主治医以外の意見を聞くことに関する相談
要望、苦情等	8:30～17:00	診療についての要望、苦情等の受付

医療連携センター TEL 058-230-7033 FAX 058-230-7035

募集!

**看護師/看護補助者
—明日に向かって羽ばたこう—**

- ◆平成20年5月1日から7対1看護師配置を実施しています。
- ◆常勤・パートタイマー看護師ともに募集しています。
- ◆パートタイマー看護補助者を募集しています。
- ◆勤務形態・配置場所・採用日など相談に応じます。
- ◆いろいろな経歴の看護師が活躍しています。
- ◆育児部分休業や夜勤専従を導入しています。
- ◆大学保育園「ほほえみ」があります。

*病院見学及び詳細な説明をご希望の方は下記にご連絡ください。

医学部附属病院総務課人事係：058-230-6055 看護部事務室：058-230-7287



初期後期 臨床研修医募集!!



未来のシステムを先取りしたトータル・インテリジェント・ホスピタルで医師としての第一歩をスタートさせ、地域医療に貢献しませんか？
詳細は下記まで

医学部附属病院総務課人事係
TEL：058-230-6055
E-mail：gjha01007@jim.gifu-u.ac.jp